

放送大学滋賀学習センター

# 樹 滴

緑豊かな環境

真理のしきたり

第108号



〒520-2123

滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5

龍谷大学瀬田キャンパス4号館1階

TEL. 077-545-0362

FAX. 077-545-2096

<http://shiga.ouj.ac.jp/>

## 目 次

「瑞穂の国の言語崩壊」(学習センター所長 吉川 栄治) .....	1
「メンタルコントロール」(龍谷大学教授 井上 辰樹) .....	2
滋賀学習センターの勉強会のご案内 .....	3
学習相談会・公開講座のご案内、退任・新任職員の挨拶 .....	5
事務室からのお知らせ .....	6
平成30年度第1学期在籍者統計 .....	10



# 瑞穂の国の言語崩壊

学習センター所長 吉川 栄治

まず次の「文章」を辛抱して読んでほしい。最後まで読んで、解読できた人には①をさしあげたい。

私が申し上げたのは、これ言わば塚本幼稚園で教育勅語を、教育勅語をです、教育勅語をです、言わばこれを暗記していることについて私はこう申し上げたわけではなくて、今委員も、私は教育勅語については一言も答えていないというふうにおっしゃったじゃないですか。そこで、そうおっしゃっていながら、いきなり最後に、教育勅語を丸暗記するのがいいんですかということ、これは強引とか、自己矛盾ではないでしょうか。まさにこれは、委員も今パネルに挙げられているように、これ反復練習というのはということで申し上げて、この言わば教育勅語を全部暗記するんですねというのは、これ質疑者が言ったことありまして、それについて私はそれを、それを言わば例として引いていないじゃないですか。(2017.3.13、参議院予算委員会会議録)

いつか話題になった異様な唱和風景について、「過去の国会質疑で塚本幼稚園の教育に共感するような発言をしているが、現在の学校教育法の下で教育勅語の暗唱が許されると思うか」と追及された安倍首相の答弁である。ムダな言葉を取り除いて普通の日本語に翻訳すると、「教育勅語の暗唱について私は何もっていない。反復練習は素晴らしいと答えただけだ」と1行に収まる。「幼児教育として好ましくない」「感想は控えたい」ですむ話をこねくり回すところ、幼児の言い訳めいた強弁と饒舌に本音と人品がにじみ出る。この後も反復練習の話が本筋と関係なく続くのだが、速記者も頭痛がしたのではなからうか。

69年前の朝、一発の爆弾が、十数万になんなんとする、貴い命を奪いました。7万戸の建物を壊し、一面を、業火と爆風に浸わせ、廃墟と化しました。生き長らえた人々に、病と障害の、また生活上の、言い知れぬ苦難を強いました。犠牲と言うべくして、あまりに夥しい犠牲でありました。

2014年、広島平和祈念式典の首相スピーチ。前年原稿の使い回しが物議を醸したが、手抜き以前に随所で日本語がショートしている。摩訶不思議な漢文訓読語、被爆者を地獄の罪人扱いした「業火」、広島をドブに見立てた「浚う」など、あさっての方を向いた表現が満載で、プロのスピーチライターの仕事とも思えない。厳粛な追悼の場で、「美しい国」の伝統と文化に対する造詣と重厚な読書歴を披露した格好だが、さすがに周りもまずいと思ったか、翌年はせつかくの格調高い迷文がバツサリ削られてしまった。

「地球儀俯瞰外交」「一億総活躍」「人づくり革命」「戦後以来の大改革」「国難突破解散」(以下略)

恒例の大風呂敷大バーゲンである。戦前の「八紘一宇」「一億一心」「国民精神総動員」の廉価版といったところで、革命やら国難やらそれこそ戦後以来の大騒動だが、キラキラスローガンが世界に発信され、謙虚な日本人のイメージに傷がつかないか心配になる。そもそも、落ち着きの悪い「総活躍」、意味不明の「戦後以来」、俯瞰しなくても丸見への「地球儀」をどう英訳したのかと思い、官邸サイトをのぞいてみた。

すると、「一億総活躍」は“Dynamic Engagement of All Citizens”(全市民の精力的な参画)に、「戦後以来」は“since the end of World War II”(第二次世界大戦の終結以降)に、「地球儀」は“world map”(世界地図)に変身していた。日夜書き換え・改竄に追われる官僚の皆さんもご苦労なことである。

「葦原の瑞穂の国は神ながら言<sup>こと</sup>挙げせぬ国」(万葉集)——古来日本は事々しく言い立てることを慎む国だった。首相が宇宙語をさえずりながら地球儀を俯瞰しているうちに世界に置いていかれたこの国を、視野狭窄の部族的島国とかつて評したのはキッシンジャーだが、いまだ世襲と縁故がはびこり、言葉と記録が意味を失った万邦無比の部族国家の現状にかんがみて、国号も倭<sup>わ</sup>に戻した方がいいかもしれない。

# メンタルコントロール

学習センター客員教員 井上 辰樹

## 自殺とうつ症状

わが国における自殺死亡数は、平成10年以降2.5万人を越えて推移しており、家族の心理的、経済的損失のみならず、社会的にも大きな損失をもたらす重要な課題となっている。

そのため、平成19年6月に政府が推進すべき自殺対策の指針として「自殺総合対策大綱」が制定され、国、地方公共団体、医療機関、民間団体等が密接な連携を図りつつ、自殺死亡率を減少させることが目標とされている。自殺者の7割が直前にうつ症状を呈していると予想されているため、うつ病予防対策が喫緊の課題である。

特に、仕事や職業生活に関して強い不安、悩み又はストレスを感じている労働者が5割を超える状況にある中、仕事による強いストレスが原因でうつ病等精神障害が増加傾向にある。労働者のメンタルヘルス不調を未然に防止することが重要な課題となっている。

## メンタルコントロール

仕事のストレスが長期にわたり、休みなくその思考に強いられる時、その思考は、自らストレス生み出す記憶として固定され、その強い不安、悩み又はストレスから抜け出せなくなり、うつ症状を呈してくる。例えば、交渉が難航している事業の責任者であれば、休憩時間も休日も常に、その課題解決の件が頭から離れないであろう。この状態が長期に渡るとうつ症状を呈しやすくなる。したがって、その予防には負の思考の無限ループから抜け出すためのメンタルコントロールが必要になる。具体的には負の思考をしないことであるが、考えるなということとはなかなか難しく、やはり優先順位の高いものとして考えざるを得ない状態になる。一つの有効な方策は別の強い思考の楔（くさび）を無限ループ化している負の思考の連続体に打ち込むことである。

そこで提案したい手段に岩登りがある。但しこの提案のエビデンスは私自身の経験値であることをご了解願いたい。たまたま知人に誘われた体験教室をきっかけとして、現在は月1回の頻度で登っている。なぜ岩登りなのか。それは滑落に対する恐怖が楔として負の思考ループをブレイクするのである。実際には上方から垂れるセーフティロープを腰に固定して行うもので、極めて高い安全性が確保されているのだが、それでも5mmの岩のシワにつま先を置き、体重をかけていく瞬間の恐怖は、仕事の課題解決策など負の思考の一切を排除してくれる。登っている間は登ることだけなのである。それは実に見事に。

メンタルコントロールの手段として岩登りはいかがだろうか。



# 勉強会のご案内

所長・客員教員が開催する学びの場です。原則として滋賀学習センター所属の学生が参加できます。

以下の日程が変更になる場合は、滋賀学習センターWEB ページ及び掲示板でお知らせしますのでご注意ください。



## 吉川 栄治 先生 | 古今集の世界

日本文化の出発点となった最初の勅撰集『古今和歌集』の世界にふれます。文字の大きなワイド版岩波文庫を使用します。

7月10日(火) 10:30~12:00      7月24日(火) 10:30~12:00

8月28日(火) 10:30~12:00

9月11日(火) 10:30~12:00      9月25日(火) 10:30~12:00



## 秋山 元秀 先生 | 中国史の原典を読む

宋の司馬光著『資治通鑑』の漢武帝の時代(巻17)を読みます。テキストには活字標点本(中華書局版)を使います。和刻本(山名本)もあります。

7月4日(水) 10:30~12:00      7月18日(水) 10:30~12:00

9月5日(水) 10:30~12:00      9月19日(水) 10:30~12:00



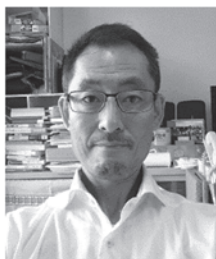
## 石田 法雄 先生 | ちょっと英会話その5、(8月からはその6)

簡単な英会話です。時に英文法の解説をします。趣味・趣向、最近の出来事などを主なテーマとしています。

7月6日(金) 13:30~15:00      7月20日(金) 13:30~15:00

8月10日(金) 13:30~15:00      8月17日(金) 13:30~15:00

9月7日(金) 13:30~15:00      9月21日(金) 13:30~15:00



## 井上 辰樹 先生 | 健康と運動

人類にとって運動とはいかなる価値を持つのか、また現代社会において運動不足の与える影響とはについてみなさんと一緒に身体を動かしながら、考えていきたいと思えます。

(体育館用シューズ持参、動きやすい服装で)

7月13日(金) 13:30~15:00

8月24日(金) 13:30~15:00

9月14日(金) 13:30~15:00



### 梅澤 直樹 先生 | 経済学に親しむ

前期の学習会(7月までは東谷暁『経済学者の栄光と挫折』(朝日新書)を素材に学習)を承け、根井雅弘『ケインズ革命』の群像』をテキストに、現代経済学の理解を深めたいと思います。

7月6日(金) 10:30~12:00

7月20日(金) 10:30~12:00

8月10日(金) 10:30~12:00

8月24日(金) 10:30~12:00

9月7日(金) 10:30~12:00

9月21日(金) 10:30~12:00

NO  
IMAGE

### 兼重 努 先生 | 多民族国家としての中国を知る

王柯(著)『多民族国家 中国』(岩波新書)の輪読と兼重による解説により、多民族国家中国に関する基礎知識を学びます。

7月3日(火) 13:30~15:00

7月17日(火) 13:30~15:00



### 藤原 学 先生 | 電子から見る化学 (周期表から物質へ)

化学をより深く知るためには、電子のことをよく理解する必要があります。そこで、電子の方から化学を勉強していきます。

7月10日(火) 10:00~11:30

所 長	吉川 栄治	放送大学特任教授・滋賀大学名誉教授	国文学
客員教員	秋山 元秀	滋賀短期大学長・滋賀大学名誉教授	地理歴史学・人文地理学
	石田 法雄	滋賀県立大学名誉教授	宗教学・英語英文学
	井上 辰樹	龍谷大学教授	公衆衛生学・運動生理学
	梅澤 直樹	大和大学教授・滋賀大学名誉教授	社会経済学
	兼重 努	滋賀医科大学教授	文化人類学
	藤原 学	龍谷大学教授	機器分析化学

## 学習相談会のご案内

修学上のいろいろな問題について、所長および客員教員が学習相談に応じます。

勉強会終了後に学習相談会を設けていますので、相談をご希望の方はこの機会をご活用ください。

- ① 事務室窓口横のラックにある「学習相談会申込書」に必要事項を記入し、事務室に提出してください。
- ② 原則、勉強会終了後の学習相談会での相談となりますが、それ以外での相談の場合は、日時などを調整後、ご連絡いたします。

所長への学習相談は随時受け付けていますので、お気軽にお申し出ください。

なお、出張等による不在日がありますので、事前に事務室で所長の予定をご確認いただき、電話または窓口でご予約ください。

## 無料公開講座のご案内

滋賀学習センターは、集える学習センターづくり(地域貢献と広報活動)の一環として、次のとおり公開講座を開催します。興味のある方はご参加ください。

### 公開講座Ⅰ

■日時：7月22日(日) 14:00~15:45

■講座名：「親鸞と道元  
—個別性と普遍性より—」

■講師：石田 法雄 先生  
(滋賀県立大学名誉教授)

### 公開講座Ⅱ

■日時：9月1日(土) 14:00~15:45

■講座名：「大規模災害における皆さんの役割と備え  
—裁判事例からみたいまの危機管理水準—」

■講師：烏野 猛 先生  
(びわこ学院大学教授)

※いずれの講座も

■会場、連絡先：放送大学滋賀学習センター

(TEL. 077-545-0362、公開講座受付専用メールアドレス：shiga-sc@ouj.ac.jp)

■参加者：先着100名、一般・学生に係わらず、誰でも参加可能(予約が必要)です。

■申込み方法：電話またはメールで直接滋賀学習センターに申込みをしてください。

## 退任・新任職員の挨拶

平成30年5月31日付けをもって退職いたしました。総務・会計担当として勤務させていただいた5年間でしたが、その間、研修旅行『真田山・適塾』や面接授業フィールドワーク『龍谷の森、比叡山、大津や伏見の街歩き』に同行させていただいたことなど懐かしく思い出されます。皆様には大変お世話になりありがとうございました。今後の皆様のご健康とご活躍をお祈りいたします。

西村 利治

6月より総務の仕事をしてもらうことになりました藤井と申します。42年間、滋賀大学において大学運営業務に携わってまいりました。里山の風情のあるキャンパスにおいて、今までの経験を生かしながら、放送大学滋賀学習センターの業務を1日も早くマスターし、皆様のお役に立てよう取り組みたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

藤井 孝行

# 事務室 からの お知らせ

単位認定試験、図書・再視聴室の利用、卒業研究の履修申請、次学期に向けての手続き、学生証の有効期限、各種変更手続き、インターネット配信、などについてご案内します。

## 単位認定試験について

通信指導の合格により受験資格が得られます。未提出または不合格の場合は受験できません。通信指導の結果が7月20日(金)になっても届かない場合は、大学本部(TEL:043-276-5111)へ連絡してください。



単位認定試験については、「受験票」、受験票に同封の「単位認定試験に際しての注意事項」および「学生生活の葉」(学部:66頁～77頁、大学院:60頁～71頁)を熟読してください。

### ■期間

【大学院】 7月27日(金)、7月28日(土)

【教養学部】 7月29日(日)～8月5日(日) ※7月30日(月)、8月3日(金)を除く

### ■必要なもの

#### ★単位認定試験通知(受験票)

試験日の約1週間前までにご自宅に送付されますが、択一式は7月8日(日)、記述式は7月19日(木)までに届かない場合や紛失した場合は、大学本部(TEL:043-276-5111)へ連絡ください。

#### ★学生証

学生証は、学習センターで発行します。発行するためには、事前に写真票を大学本部に提出していただき、システムWAKABAに登録されていることが必要です。写真票は、試験日まで余裕をもって大学本部に提出してください。(発行には数日かかります)

#### ★HBの黒鉛筆 シャープペンシルは不可です。

#### ★持込み許可物品

受験票に同封されている「単位認定試験受験に際しての注意事項」に記載されていますので、必読ください。学習センターでは、持込み許可物品の貸与はできません。

### ■時間割等

★試験開始の10分前までに、受験票に指定された試験室に入室してください。

★1時限は50分です。

★1時限に1科目の受験です。

★遅刻は試験開始後20分まで認められますが、時間の延長はありません。

★試験開始30分経過後は退室することができます。

(一部のリスニング科目を除く)

### ■駐車場

自家用車で来る方は、事前に事務室で「入構許可証」発行を済ませてください(『利用の手引き』巻末にある「入構許可申請書」に記入の上、提出してください)。満車時は、バス停横の大駐車場をご利用ください。

単位認定試験実施時間割	
第1時限	9:15～10:05
第2時限	10:25～11:15
第3時限	11:35～12:25
第4時限	13:15～14:05
第5時限	14:25～15:15
第6時限	15:35～16:25
第7時限	16:45～17:35
第8時限	17:55～18:45

## ■試験結果

試験結果は、8月下旬に「成績通知書」によって通知されます。なお、システム WAKABA でも成績を確認することができます。

## 図書・再視聴室の利用について

### ■利用時間 通常期間 9:15~17:45 (試験期間 9:00~18:45)

図書・再視聴施設への入室時には、学生証が必要です。



### ■図書の閲覧及び貸出

図書資料は、書架より自由に取り出して閲覧できます。また、「禁帯出」の辞書類や印刷教材以外の図書は1か月以内の貸出ができます。

※学習センター閉所日や開所時間外での図書資料の返却は、玄関前に設置の返却ポストをご利用ください。開所中は「図書・再視聴室」へ返却してください。

### ■放送教材(DVD/CD)の視聴及び貸出

放送教材は受付カウンターで手続きをすれば、室内視聴が可能です。(登録科目以外の放送教材も視聴できます。)

※ 放送教材の貸出は、現在登録している科目及び再試験科目の放送教材を郵送にて大学本部からご自宅に取り寄せることができます。往復の送料は、貸出希望者の負担になります。詳しくは「学生生活の葉」(学部:33頁~35頁、大学院:44頁~46頁)を熟読してください。

### ■一学期の閉室日

- \* 毎週月曜日・祝祭日
- \* 8月3日(金)・8月12日(日)(臨時閉所日)
- \* 9月25日(火)~9月30日(日)(図書・放送教材の整理)

### ■ロッカーおよびメッシュケースの利用

学习上必要とする教材以外の所持品(かばん等)は、図書・再視聴室へは持ち込まないで、ロッカーを利用してください。

なお、貴重品は必ず身に付けてください。ロッカーの利用は当日限りとし、無料です。(100円硬貨リターン式) また、カウンターにメッシュケースを置いていますので、教材等の持ち運びにご利用ください。なお、メッシュケースの利用は当日限りとします。

## 2019年度履修者用 卒業研究の履修申請について

### ■申請時期について

[新規履修希望者]

申請期間: 2018年8月16日(木)~23日(木)【本部必着】

提出先: 大学本部学生課卒業判定係



### ■履修申請条件

履修申請の条件は、2年以上在学し、62単位以上を修得していることです。



※ 在学期間は、全科履修生として在学(休学期間及び停学期間を除く)した期間が2年(2年次編入生者にあたっては1年)以上必要です。(3年次編入生者は、2年在学したものとみなします。)

※ 履修単位は、申請年度の4月1日の段階で修得単位数の合計(入学時又は編入時に認定された既修得単位数を含む)が62単位以上必要です。

ただし、上記の履修申請条件を満たしていても、履修開始の前年度に行われる「卒業研究申請書」の審査により履修が認められない場合は、卒業研究の科目登録及び履修はできません。

「卒業研究履修の手引」及び「別冊」(申請書等)の配布を学習センターで行っています。履修申請要件及び申請方法等について必ずご確認の上、申請してください。詳細は、卒業研究履修の手引」及び「別冊」(申請書等)をご覧ください。

## 次学期にむけての手続きについて

### <9月で学籍が切れる方>

学習を継続される方、再試験を受ける方は継続入学をしてください。

■申請期間:第1回(郵送)8月31日(金)まで ※本部必着 (インターネット)8月31日(金)24:00まで  
第2回(郵送)9月20日(木)まで ※本部必着 (インターネット)9月20日(木)24:00まで

■提出物:継続入学用出願票

※ 選科生、科目生から全科生へ入学する場合は、「学生募集要項」で出願してください。

※ 新規に科目登録をせず、再試験のみを希望される場合は、「今回は再試験のためだけの出願である」に○を付けてください。

### <次学期も学籍が続く方> 「学生生活の栞」学部:59頁~63頁、大学院:53頁~59頁参照

期間内に次学期の科目登録をしてください。

■申請期間:(郵送)8月15日(水)~8月30日(木) ※私書箱必着  
(システム WAKABA)8月15日(水)9:00~8月31日(金)24:00まで

■提出物:科目登録申請票

### <今学期で卒業見込みの方> 「学生生活の栞」学部:93頁~98頁参照

学習を継続される方は、以下の通り入学手続きをしてください。

#### ⇒学籍が続く方

##### ①卒業となった場合の手続き

■申請期間:第1回(郵送)8月31日(金)まで ※本部必着 (インターネット)8月31日(金)24:00まで  
第2回(郵送)9月20日(木)まで ※本部必着 (インターネット)9月20日(木)24:00まで

■提出物:継続入学用出願票

##### ②卒業とならない場合に備えての手続き

■申請期間:(郵送)8月15日(水)~8月30日(木) ※本部必着  
(システム WAKABA)8月15日(水)9:00~8月31日(金)24:00まで

■提出物:科目登録申請票

システム WAKABA  
をご活用ください!



**⇒学籍が切れる方****①卒業となった場合の手続き**

- 申請期間:第1回(郵送)8月31日(金)まで ※本部必着 (インターネット)8月31日(金)24:00まで  
第2回(郵送)9月20日(木)まで ※本部必着 (インターネット)9月20日(木)24:00まで

■提出物:継続入学用出願票

**②卒業とならない場合に備えての手続き**

- 申請期間:第1回(郵送)8月31日(金)まで ※本部必着 (インターネット)8月31日(金)24:00まで  
第2回(郵送)9月20日(木)まで ※本部必着 (インターネット)9月20日(木)24:00まで

■提出物:学生募集要項出願票

**学生証の有効期限について**

学生証の有効期限が切れた方は、期限切れの学生証を持参し、学習センターで学生証の交換手続きを行ってください。(全科生=2年間 選科生=1年間 科目生=半年間)

**各種変更手続きについて****■ 住所等の変更**

入学後、「現住所」、「連絡先の電話」に変更があったときは、すみやかに「住所等変更届」を提出(システム WAKABA での届出も可)するとともに、「現住所」変更の場合は、最寄りの郵便局にも転居届を提出してください。  
「学生生活の葉」学部:87頁、院:76頁参照

**■ 氏名の変更**

入学後、「氏名」に変更があったときは、すみやかに「氏名変更届」を提出(システム WAKABA での届出も可)してください。なお、あわせて学生証再発行の手続きも行ってください。

※ 手続きを行わなかった場合は、単位認定試験の受験が認められないことがあります。

「学生生活の葉」学部:87頁、院:76頁参照

**■ 学生証の再発行**

紛失、盗難等により学生証を失った場合、汚損等により使用不能となった場合及び氏名の変更があった場合には、すみやかに学生証再発行の手続きを行ってください。その際には、「学生証再発行願」に必要事項を記入の上、所属学習センターで発行手続きを行ってください。発行には手数料500円が必要です。

「学生生活の葉」学部:20頁、院:26頁参照

上記の提出先

◇教養学部◇

住所等変更届:滋賀学習センター

氏名変更届:大学本部学生課入学・履修係

◇修士全科生・博士全科生◇

大学本部教務課大学院企画・入試係

◇修士選科生・科目生◇

大学本部学生課入学・履修係

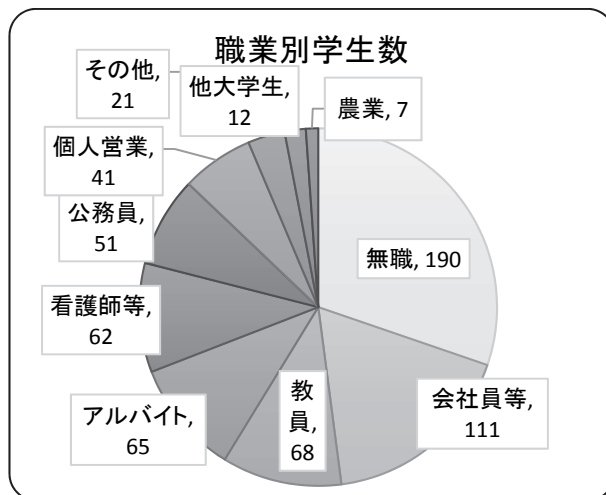
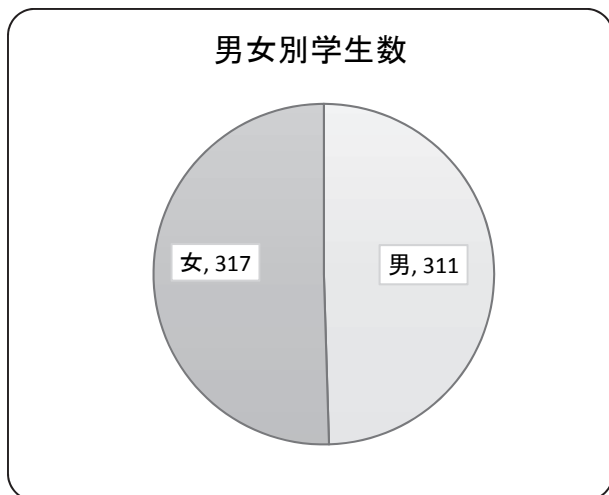
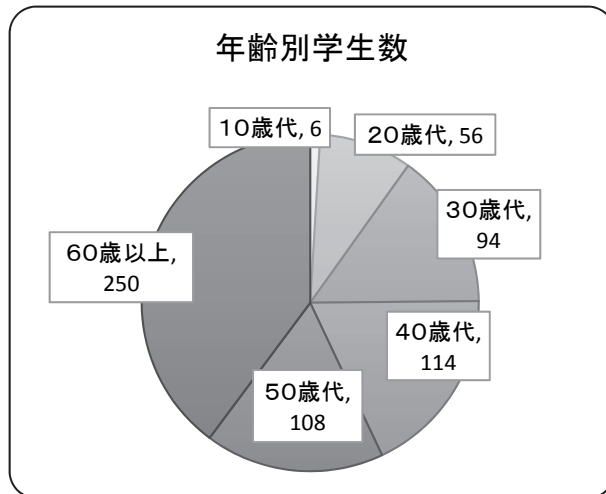
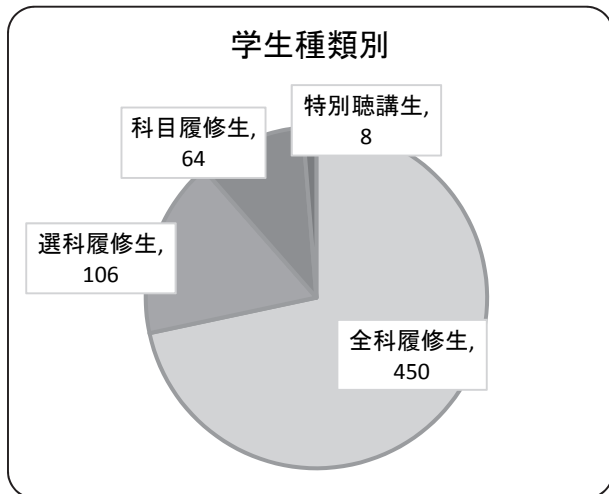
**※諸様式は、「学生生活の葉」の巻末にあります。**

**滋賀学習センターにおける Wi-Fi の利用申請について**

今年度からセンター内で、個人の持込 PC・スマートフォン・タブレット端末による Wi-Fi 接続が可能となりました。Wi-Fi の利用を希望される方は、必ずご本人が滋賀学習センター事務室へご来所のうえ、申請手続きを行ってください。申請用紙は滋賀学習センターのホームページよりダウンロードするか、直接窓口に取りに来てください。なお、申請にはサイバーセキュリティ研修が必須となっていますので、研修を終えた後、申請書の提出をお願いします。 ※ サイバーセキュリティ研修とは、放送大学の放送授業である「遠隔学習のためのパソコン活用(17)の、第5回「セキュリティと情報倫理」(システム WAKABA にログイン>学内リンク>放送授業のインターネット配信>カテゴリー:01 教養学部>01 基盤科目)を受講することです。

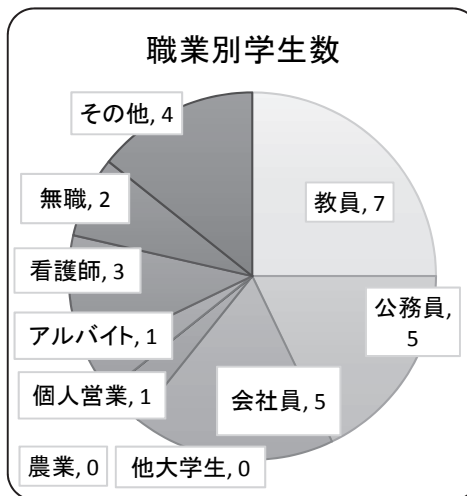
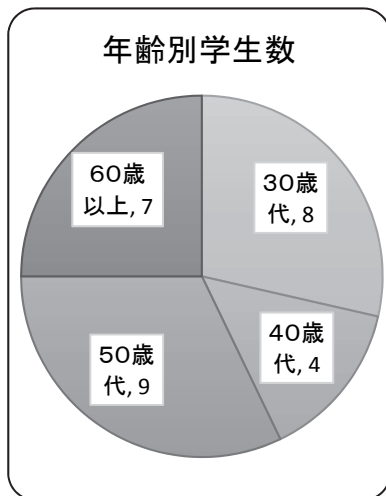
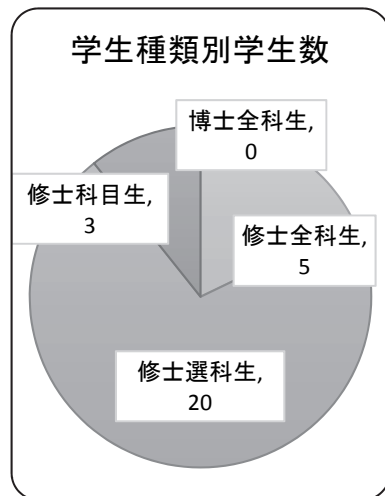
# 平成30年度第1学期在籍者統計

◇教養学部： 628名（男性 311名、女性 317名、最年少18歳、最高齢91歳）



※職業別グラフで「無職」には定年退職者や専業主婦(夫)も含まれます。

◇大学院： 28名（男性 13名、女性 15名、最年少 31歳、最高齢 77歳）



※皆さまのお近くにおられる友人や知人に放送大学を是非おすすめください。



# スケジュール



7 月				8 月				9 月			
日	曜	貸出	内 容	日	曜	貸出	内 容	日	曜	貸出	内 容
1	日	○	創立記念日 面接授業	1	水	×	第1学期教養学部単位認定試験	1	土	○	公開講座(滋賀SC,14:00)
2	月		閉所日	2	木	×	第1学期教養学部単位認定試験	2	日	○	
3	火	○	【勉】兼重13:30	3	金		臨時閉所日	3	月		閉所日
4	水	○	【勉】秋山10:30	4	土	×	第1学期教養学部単位認定試験	4	火	○	
5	木	○		5	日	×	第1学期教養学部単位認定試験 集中科目放送授業終了	5	水	○	【勉】秋山10:30
6	金	○	【勉】梅澤10:30 【勉】石田13:30	6	月		閉所日	6	木	○	
7	土	○	面接授業	7	火	○	面接授業 図書貸出可(～9/8)	7	金	○	【勉】梅澤10:30 【勉】石田13:30
8	日	○	面接授業	8	水	○	面接授業	8	土	○	
9	月		閉所日	9	木	○		9	日	×	図書貸出停止(～10/7)
10	火	○	【勉】藤原10:00 【勉】吉川10:30	10	金	○	【勉】梅澤10:30 【勉】石田13:30	10	月		閉所日
11	水	○		11	土		山の日(閉所日)	11	火	×	【勉】吉川10:30
12	木	○		12	日		臨時閉所日 (電気設備の定期点検日)	12	水	×	
13	金	×	【勉】井上13:30 教免更新講習授業ネット配信(～8/26)	13	月		閉所日 集中科目通信指導提出期限	13	木	×	
14	土	×	面接授業	14	火	○		14	金	×	【勉】井上13:30
15	日	×	面接授業	15	水	○	科目登録申請(面接授業を含む) 大学院博士全科、修士全科出願受付	15	土	×	図書返却最終日
16	月		閉所日(海の日)	16	木	○		16	日	×	
17	火	×	【勉】兼重13:30	17	金	○	【勉】石田13:30	17	月		閉所日(敬老の日)
18	水	×	【勉】秋山10:30	18	土	○		18	火	×	
19	木	×	図書返却最終日	19	日	○		19	水	×	【勉】秋山10:30
20	金	×	【勉】梅澤10:30 【勉】石田13:30	20	月		閉所日	20	木	×	
21	土	×	第1学期放送授業終了	21	火	○		21	金	×	【勉】梅澤10:30 【勉】石田13:30
22	日	×	公開講座(滋賀SC,14:00) 集中科目放送授業開始(～8/5)	22	水	○		22	土	×	
23	月		閉所日	23	木	○		23	日		秋分の日(閉所日)
24	火	×	【勉】吉川10:30	24	金	○	【勉】梅澤10:30 【勉】井上13:30	24	月		閉所日
25	水	×		25	土	○	教員免許更新講習修了認定試験	25	火	×	【勉】吉川10:30 図書等整理のため再視聴室閉室(～9/30)
26	木	×		26	日	○	教員免許更新講習修了認定試験	26	水	×	
27	金	×	第1学期大学院単位認定試験	27	月		閉所日	27	木	×	
28	土	×	第1学期大学院単位認定試験	28	火	○	【勉】吉川10:30	28	金	×	集中科目履修生(看護)単位認定試験
29	日	×	第1学期教養学部単位認定試験	29	水	○		29	土	×	集中科目履修生(看護)単位認定試験
30	月		閉所日	30	木	○	科目登録申請(面接授業を含む) 郵送受付期限	30	日	×	卒業証書・学位記授与式、入学者 の集い
31	火	×	第1学期教養学部単位認定試験 体育実技単位認定申請締切、オンライン授業終了	31	金	○	科目登録申請(面接授業を含む) Web受付期限	○:図書貸出可 ×:図書貸出停止 【勉】勉強会			

◇表紙写真説明

左下:面接授業「里山から考える持続可能な生活」(宮浦富保先生) 右下:面接授業「ビートルズリスニングと英会話」(石田法雄先生)